

《 競 技 注 意 事 項 》

1. 規則について

本大会は、2018年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場が開門してない場合は、絶対に競技場内に入らないこと。※ **開門時間 7:30 (予定)**

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。但し、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則第143条を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、招集完了時刻を過ぎてから競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うことその際、競技役員の指示に従い、事故には十分注意すること。

最初の競技開始30分前まで主競技場をウォーミングアップ用に開放する。その際、1~3レーンは周回練習、5~8レーンはスピード練習、ただし、ホームストレートの7・8レーンはハードル練習とし、4レーンにコーンを設置する。

但し、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※フィールド種目の練習開始時刻は審判員の指示に従うこと。

※競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。

※三ツ沢競技場周辺の公園内での練習は禁止する。※駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

招集所は100mスタート地点後方に設ける。招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。なお、招集はナンバーカード、スパイクピンの点検と上着、バッグ等の商標の点検を受ける。必ずユニフォームを着用して受けること。

招集に遅れた者は、欠場と見なし出場を認めない。

※リレーのオーダー用紙(配布は招集所)提出は、招集完了時刻1時間前までに提出すること。

※リレーの招集は各出発地点において20分前に実施する。

※棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。

※2種目を同時に出場する競技者は予め、その旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し、提出する。

5. ナンバーカードについて

ナンバーカード(有料)は、主催者が用意したままの状態(縦20cm、横24cm)で使用し、安全ピンは各自で用意すること。跳躍種目では、ナンバーカードを背または胸につけるだけでもよい。

トラック競技では、招集の際に腰ナンバー標識を受け取り、競技終了直後にフィニッシュ地点で返却する。

腰ナンバー標識は、右腰やや後方につけること。

3000m以上の種目では、招集の際に特別ナンバーカードを使用する。特別ナンバーカードは招集の際に受け取り、競技終了直後にフィニッシュ地点で返却する。

6. トラック競技について

・予選の組・走路順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。

・決勝の組・走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。

・トラック競技は、すべて電気計時(1/1000)とする。

・同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。

・競技運営上、記録会男子5000mは19分、記録会女子3000mは12分、成年少年A女子共通5000mWは35分で競技を中止する。(※残り1周通過タイム)

・少年男子共通110mJHの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。

・少年女子B 100mHの高さは0.762m、インターバルは8.5mとする。

・リレー競技において同一チームの競技者は、同一のユニフォームを着用すること。

・トラック競技のスタートの合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。

※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられる事がある。本大会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。但し、競技会からは除外しない。

7. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。（但し、荒天の場合は別途指示する。）

種目	練習	バーの上げ方								
成年男子 走高跳	1m80～	1m85	1m90	1m95	2m00	2m10	以後 3cm			
成年/少年A 女子共通走高跳	1m40～	1m45	1m50	1m55	1m60		以後 3cm			
成年/少年A 女子共通棒高跳	2m80～	3m00	3m10	3m30	3m40	3m50	以後 5cm			
記録会 男子走高跳A	1m70～	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後 3cm		
記録会 男子走高跳B	1m45～	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後 3cm
記録会 男子棒高跳A	3m90～	4m00	4m10	4m20～5m00	(10cm)	5m05	5m10	以後 5cm		
記録会 男子棒高跳B	2m90～	3m00	3m10	3m20～4m20	(10cm)	4m25	4m30	以後 5cm		
記録会 女子走高跳A	1m35～	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60		以後 3cm		
記録会 女子走高跳B	1m15～	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以後 3cm	

※第1位を決定するためのバーの上下の範囲は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※走幅跳・三段跳の助走路は、(A) (C) はトラック側、(B) はスタンド側とする。

※成年男子三段跳の踏み切り板の位置は、砂場より13m00に設置する。

※男子三段跳の踏切板の位置は、(A) は砂場より12m00、(B) は11m00、(C) は10m00に設置する。

※女子三段跳の踏切板の位置は、砂場より10m00に設置する。

8. 競技用具について

競技に使用する器具は主催者が用意する。但し、棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて合格した物は使用することができる。

9. 抗議について

競技規則146条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金10,000円を総務に提出する。（正式アナウンス後30分以内とする。）

10. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所競技者係に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

11. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。（競技規則第144条）

12. 競技方法について

・次の種目は競技運営上、複数の種別を同時刻に行う。

成年/少年A 女子共通走高跳・記録会女子走高跳	成年男子やり投げ・記録会男子やり投
少年男子B 走幅跳・少年女子B 走幅跳	成年女子やり投げ・記録会女子やり投
成年男子三段跳・記録会男子三段跳A	成年男子砲丸投げ・成年女子砲丸投
成年女子円盤投げ・記録会高校男子円盤投B	

・少年男子共通110mHのハードルの高さは、0.991m、インターバルは9.14mとする。

・少年女子B100mHのハードルの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。

・少年男子B砲丸投の砲丸の重さは5.0kgとする。

13. その他

- ・役員・選手以外のトラック・フィールドへの立ち入りを禁ずる。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。 ※公園内や周辺のゴミ箱等に捨てないこと。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、各団体の控室のように占有して使用しないこと。
- ・正面スタンドには、横断幕を張らないこと。
- ・応援は、スタンド席で行う。 ※スタンド最前列で、立っての応援は禁止します。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行う。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- ・三ツ沢公園では競技場外（公園内・駐車場等）にはテントやシート等で占有スペースを設置しないこと。